

感染防止対策に一層気を配る日常となった令和2年度でしたが、先週卒業した先輩方との学校生活の中で、さまざまな力や道徳性を養ってきました。例えば、予餞会における出し物や係の動きは、一人一人がよく考えながら実行に移っていて、昨年の4月と比べて一段とたくましくなったなあ実感しています。先程は学年代表に修了証を手渡しましたが、制約のある1年間を頑張ったと思います。いよいよ、2年生は最高学年かつ進路を定める学年となり、1年生は後輩に手本を示す学年を迎えることとなります。明日からの春休みを上手に過ごし、それぞれが一段とレベルアップを果たして欲しいと願っています。このために、私から3つのお願いを伝えたいと思います。

1つ目は、学習の質と量を上げるということです。3年生はともかく、2年生の学習成績も高校につながって行きます。苦手科目の克服を含めて、分かることや理解できたことをどんどん増やすため、計画的に学習を進めてください。そのためには、SNSやゲームなどの学習以外の時間を、どれだけ削り込めるかが勝負どころです。教科書や問題集にとことん向き合ってください。

2つ目は、見えないところで頑張ってくれている人に、敬いの心を表せるようになって欲しいということです。例えば、校務助手の山本さんを知っていますか。緑色のヘルメットをかぶり、玄関前に落ちている木の枝を一輪車で運んでいたりする方です。皆さんが、授業を行っている間、学校の環境を整えてくださっています。こうした人たちは他にも、事務室の方や調理員さんなどおられますが、「こんにちは」とおじぎをした挨拶ができていますか。陰で支えて下さっている人に思いを馳せ、敬う気持ちを様々なカタチとして表そうとする人になって欲しいです。まずは、挨拶とおじぎに意識をもってください。

そして最後の3つ目は、情報を適切に見極め、正しく判断する力を伸ばして欲しいということです。新型コロナウイルス対策として、国の緊急事態宣言解除を受けつつ、富山県が自粛を呼び掛けています。例えば、家族などで会食する場合、3、4人といった少人数で行うこと、また、会食時のルール「ますずし」を徹底することなどです。この「ますずし」は4つの内容で、「マスクつけ」「すぐに手洗い、飲む量抑え」「少ない人数」「静かに食べる」というもの。こうした情報が誤った内容として発信されたり、うそや偽りの内容をあたかも正しいものとして示してあったりすることが多く見られます。「自分の命は自分で守る」との言葉もある通り、さまざまな情報に触れる時は、雰囲気や流行に安易に乗っかるのではなく、正しいかどうかをしっかりと見極めた上で、次の判断を考えて欲しいと思います。

結びに、令和2年度は本当に不思議な年となってしまいましたが、1、2年生の皆さん

の頑張りのおかげもあり、この修了式を迎えることができ、感謝しています。春休みを交通安全と感染防止に努めながらゆったりと過ごし、始業式には元気な姿で会えることを楽しみにして、式辞とします。